

2020
年度

第26回FDフォーラム

あらためて大学とはなにか ～コロナ禍を超えて新しい時代へ～

オンライン開催/ 参加費無料

2/20(Sat)・21(Sun)
27(Sat)・28(Sun)

シンポジウム

大学の教育・研究・社会貢献に新しいモデルは生まれうるか？
～COVID-19の経験を踏まえてAI化・ロボット化した世界の担い手を構想する～

申込期間：2021年1月19日(火) 9:00～1月30日(土) 17:00

大学コンソーシアム京都加盟大学・短期大学先行申込期間
2021年1月5日(火) 9:00～1月19日(火) 8:59

あらためて大学とはなにか

～コロナ禍を超えて新しい時代へ～

この度の新型コロナウイルス感染症は大学にも未曾有の混乱を引き起こしました。自身を振り返ってみても、卒業式や入学式は中止、春学期はすべての授業がオンライン方式となり、新入生は登校することなく大学生活が始まりました。秋学期には対面授業も一部再開され、キャンパスにも学生が戻ってきましたが、今後の状況も予断を許しません。しかし、どのような状況にあっても、大学がその歩みを止めることはありません。教職員・学生ともに、戸惑いながらも、臨機応変に対応しているのが現状でしょう。

対面での授業・活動ができない状況は、大学のIT化・オンライン化を一気に進めましたが、それは物質的な方法だけでなく、われわれの「大学」の認識も大きく変えたのではないのでしょうか。これまで大切に思っていたことが他の方法で十分に代替できたり、あるいは、これまで意識してこなかったことの重要性に改めて気づかされたり。いまだ渦中にありますが、今年度のFDフォーラムはテーマを「あらためて大学とはなにか～コロナ禍を超えて新しい時代へ～」と掲げました。コロナ禍を経る中で見えてくる大学とは。その先にたどり着く大学のあるべき姿とは。次の時代の大学を考えるきっかけになれば幸いです。

今年度はシンポジウム・分科会・ポスターセッションから情報交換会に至るまですべてをオンラインで開催します。企画段階から、すべての会議をオンラインで行い準備してきました。新しいFDフォーラムの第一歩に、ぜひご参加ください。

第26回FDフォーラム企画検討委員会

委員長 茂見 岳志（同志社大学 経済学部 教授）

スケジュール

※詳細スケジュールは裏表紙をご覧ください。

日程	時間	内容
2月13日(土)	9:00～	ポスターセッション特設WEBサイト公開（2月28日(日)23:59まで）
2月20日(土)	10:00～12:00	シンポジウム
	14:00～16:30	ポスターセッション オンライン発表
	17:00～18:30	情報交換会
2月21日(日)	10:00～12:00	第1分科会
	14:00～17:00	第2・3分科会
2月27日(土)	10:00～12:00	第4分科会
	14:00～17:00	第5・6・7分科会
2月28日(日)	10:00～12:00	第8・9分科会
	14:00～17:00	第10・11分科会

申込方法

お申込みいただく際は必ず、当日ご参加されるご本人のメールアドレスをご入力ください。
1つのメールアドレスで複数のお申込みをいただいた場合はお申込み情報を削除する場合があります。

本フォーラムは事前申込制です。FDフォーラムWEBページよりお申込みください。

※申込期間外およびフォーラム当日の参加申込受付は行っておりません。

<https://www.consortium.or.jp/project/fd/forum>



■申込期間：2021年1月19日(火) 9:00 ～ 1月30日(土) 17:00

※加盟大学・短期大学先行申込期間：2021年1月5日(火) 9:00～1月19日(火) 8:59

大学コンソーシアム京都に加盟する大学・短期大学を対象に、先行申込期間を設けています。
先行申込期間中は、加盟校優先定員までの受付となります。

■参加要件：Zoomでの参加が可能な方に限ります。

■参加費：無料 今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からオンラインにて開催いたします。
初めての試みですので、今年度は参加費を無料といたします。

注意事項

- ・Zoomアプリケーションのインストールを推奨します。ウェブブラウザからの接続も可能ですが機能が制限される場合があります。
- ・Zoomでのご参加にあたり、PC・マイク・スピーカー等の環境は参加者ご自身でご確認ください。
事務局では動作環境のサポートは致しかねます。予めご了承ください。

※参加されるうえで、何か配慮すべき障がいがあれば、1月30日(土)17:00までにFDフォーラム事務局までご連絡ください。

大学の教育・研究・社会貢献に 新しいモデルは生まれうるか？

～COVID-19の経験を踏まえてAI化・ロボット化した世界の担い手を構想する～

2020年度、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）により、新学期の授業運営は、所属元の組織的判断に基づきつつ教員個々が手探りで工夫を重ねることにより、開講準備が進められた。その端緒は、2万人を超えるメンバーが参加したFacebookグループ「新型コロナのインパクトを受け、大学教員は何をすべきか、何をしたいかについて知恵と情報を共有するグループ」（10月9日に「新型コロナ休講で、大学教員は何をすべきかについて知恵と情報を共有するグループ」から名称変更）で確認できる。

そこで本シンポジウムでは、COVID-19の経験をもとに、人口減少社会・グローバル化、そしてVUCAの時代の大学の存在と役割について探究する。コロナ禍から1年、SNSを通じた集合知はいかに働いたかを確認しつつ、大学における、あるいは大学のための新しいリテラシーを探究する機会としたい。

シンポジスト



岡本 仁宏氏 関西学院大学 法学部 教授

経歴

1955年生まれ。西洋政治思想史の概念史研究から阪神淡路大震災を機にNPO等非営利社会活動研究に専門を広げ、「市民社会」をキーワードに二足の草鞋で研究中。京都大学法学部卒、名古屋大学法学研究科博士後期課程単位取得退学、滋賀大学専任講師を経て現職。この間、客員研究員としてYale大学・Westminster大学・Washington大学に滞在。

主な活動、著書

（社福）大阪ボランティア協会ボランティアリズム研究所所長、（公財）公益法人協会顧問。前日本NPO学会会長、前大阪府公益認定等委員会委員長等。『現代日本の市民社会』（共著）法律文化社、2019、『市民社会論』（共著）法律文化社、2017、編著『市民社会セクターの可能性』関西学院大学出版会、2015、編著『新しい政治主体像を求めて』法政大学出版局、2014等。



杉森 公一氏 金沢大学 国際基幹教育院 高等教育開発・支援部門 准教授

経歴

1998年富山県立砺波高等学校普通科卒業。2002年筑波大学第一学群自然科学類卒業。2004年筑波大学大学院修士課程教育研究科教科教育専攻修了。2007年金沢大学大学院自然科学研究科博士後期課程修了。2007年金城大学研究員。2010年金城大学医療健康学部助手。2011年同助教。2013年金沢大学大学教育開発・支援センター准教授。2018年タフツ大学Center for Enhancement of Teaching and Learning 客員研究員。2016年より現職。専門は計算量子化学、理科教育および大学教育開発。修士（教育学）、博士（理学）。

主な活動、著書

共訳に『ROBOT-PROOF: AI時代の大学教育』、共著に『基礎から学ぶ統計解析』など。

コーディネーター



山口 洋典氏 立命館大学 共通教育推進機構 教授

経歴

1975年静岡県磐田市生まれ。専門は社会心理学、特にグループ・ダイナミックス。ネットワーク型まちづくり、災害復興、サービス・ラーニングなどをテーマにアクションリサーチを展開する。財団法人大学コンソーシアム京都事務局研究主幹、浄土宗應典院主幹、同志社大学院総合政策科学研究科助教授・准教授を経て2011年度より立命館大学共通教育推進機構准教授、2020年度より現職。2017年にデンマーク・オールボー大学で参加型学習を比較研究。

主な活動、著書

著書に『ソーシャル・イノベーションが拓く世界』（法律文化社、共著）『はじめてのファシリテーション』（昭和堂、共著）など。2019年度より立命館SDGs推進本部事務局長。

シンポジウムにお申込みいただいた方には、事前公開資料のダウンロード方法及びZoomウェビナーへの入室方法をご案内いたします。

【注意事項】

- シンポジウムは事前申込制です。
- 事前公開資料はシンポジウム申込者にのみ公開しますので、他者への転送・共有等はお控えください。厳守をお願いいたします。
- 参加者ご自身での録画・撮影・録音はご遠慮ください。

ポスターセッション

2月20日(土) 14:00～16:30※

Zoom ミーティング

定員300名

ポスターセッションでは、大学コンソーシアム京都加盟校の教職員・学生が実施する、特色ある教育に関する取組を発表します。

WEBサイトへのポスター掲載

第26回FDフォーラムポスターセッション特設WEBサイトに、ポスター及び説明動画を掲載します。

公開期間中はいつでも視聴・閲覧できます。

※特設WEBサイトはFDフォーラムのシンポジウム・分科会への申込者にのみご案内いたします。

■公開期間■ 2月13日(土) 9:00～2月28日(日) 23:59

オンライン発表

2月20日(土) に、Zoomミーティングを使用し、オンラインでポスター発表及び質疑応答を行います。(1グループ10分程度) 特設WEBサイトからZoomミーティングにアクセスいただき、ご入室ください。

●オンライン発表のスケジュール・Zoomミーティングへの参加方法は、特設WEBサイトにてご案内します。

●入室人数は300名までです。入室は先着順となりますので、混み合って入室できない場合は時間をずらして再度アクセスください。

■発表時間■ 2月20日(土) 14:00～16:30 ※発表数に応じて時間が変更になる可能性があります。

情報交換会

2月20日(土) 17:00～18:30

Zoom ミーティング

定員300名

第26回FDフォーラムは、完全オンラインでの開催となり、情報交換会についてもZoomミーティングを使用し、新たな形式で開催することといたしました。オンラインでのコミュニケーションについて経験交流の機会とするとともに、同じ課題を抱えた参加者間で情報交換ができる場となるようFDフォーラム企画検討委員会一同で工夫を重ねました。シンポジウム・分科会にお申込みいただいた方はどなたでもご参加いただけます。事前のお申込みは不要です。是非お気軽にご参加ください。

情報交換会進行：山口 洋典氏 立命館大学 共通教育推進機構 教授

FDフォーラムが初のオンライン開催ということもあり、参加者どうしの出会いと交流、さらには関心を共有する場をオンラインにて設けることといたしました。通常、対面での情報交換会では、飲食をしながら何気ない対話を重ねてきました。今回はチャットやブレイクアウトルームなどのZoomの機能を積極的に活用します。匿名でのご参加やビデオオフでのご発言など、ご自身の状況に応じて、柔軟な場づくりに努めますので、三密回避の中でのオンラインならではの濃密な情報交換などができることを願っています。



ご参加いただくみなさまへのお願い

ご参加にあたり、Zoomアプリケーションのインストールを推奨します。

また、既にインストールされている方は、Zoomアプリケーションのバージョンを
5.3.0以降のものにアップデートをお願いいたします。

※今回の情報交換会では、Zoomのブレイクアウトルームを使用し、テーマごとにいくつかのグループに分かれ、情報交換・交流する時間を設けます。5.3.0以上のZoomアプリケーションであれば、参加者ご自身でブレイクアウトルーム間をご自由に移動いただけます。

スムーズな運営のためにみなさまのご協力をお願いいたします。

【注意事項】

●情報交換会のZoomミーティングへのご参加方法は、FDフォーラムのシンポジウム・分科会にお申込みいただいた方にのみご案内します。なお、情報交換会のみのご参加は受け付けておりません。予めご了承ください。

●入室人数は300名までです。入室は先着順となりますので、混み合って入室できない場合は、待機室の画面でお待ちいただくか、時間をずらして再度アクセスください。

●多くの方にご参加いただけるよう、ご参加はおひとり1デバイスとしてください。

分科会

2月21日(日)・27日(土)・28日(日)の3日間で11の分科会を実施します。
お申込みいただいた方には、事前公開資料のダウンロード方法及びZoomミーティングへの入室方法をご案内いたします。

【注意事項】

- 分科会は全て事前申込制です。
- お申込み後の参加分科会の変更はできません。
- 複数の分科会にお申込みいただけますが、開催時間が重なっている分科会にはお申込みいただけません。
- 分科会ごとの事前公開資料は分科会申込者にのみ公開しますので、他者への転送・共有等はお控えください。厳守をお願いいたします。
- 記録用として当日は録画をいたしますが、本フォーラム終了後の映像公開はいたしません。
- 参加者ご自身での録画・撮影・録音はご遠慮ください。

2月21日(日)

第1分科会

講義形式

定員100名

10:00～12:00

Zoomミーティング

(加盟校優先定員60名)

授業目的に応じた学びの時空間の選択 ～深い学びをはぐくむ反転授業

コロナ禍における強制的なオンライン授業への移行は、学生や教員に多くの苦労を強いるものであったが、一方でこれまでいけば「食わず嫌い」であったかもしれない「授業におけるICT活用」の可能性を多く教員が「体感」するという側面もあった。「授業におけるICT活用」という新しい手法を手に入れた教員は、今後、授業目的に応じて学生がどのタイミングでどのように学ぶかを選択できるようになるだろう。その一つの手法として「反転授業」がある。本分科会では、深い学びをはぐくむ一つの手法としての反転授業について具体的な事例をもとに参加者のみなさまと考えてみたい。

コーディネーター 田口 真奈氏 京都大学 高等教育研究開発推進センター 准教授
報告者 埴 雅典氏 山梨大学大学院 総合研究部 工学域 教授
古川 智樹氏 関西大学 国際部 准教授
澁川 幸加氏 京都大学大学院 教育学研究科 博士課程2年/日本学術振興会 特別研究員(DC2)

第2分科会

講義形式

定員100名

14:00～17:00

Zoomミーティング

(加盟校優先定員60名)

開かれた教室、開かれた大学へ向けて ～メディア授業の可能性について考える～

メディア授業は通学制の学部においては卒業要件のうち60単位まで、大学院においては30単位全てまで認められている。コロナ禍での緊急対応として2020年度前期から多くの大学でメディア授業の運営に取り組むことになった。リアルタイムやオンデマンドによる授業運営を試行錯誤のなかで経験したもの、その多くは対面授業の置き換えの域を出るものではないと言えるだろう。社会と教室の連携、オンデマンド授業とライブ授業の組み合わせ、CBE(コンピテンシー・ベースド・エデュケーション)の提案、メディア授業の研究や多様な実践の先駆者である登壇者から発せられるメディア授業の持つ本質的な可能性から明日の学びの場について考えたい。

コーディネーター 岸川 謙介氏 京都精華大学 デザイン学部 教授
報告者 向後 千春氏 早稲田大学 人間科学学術院 教授
菅谷 充氏 京都精華大学 国際マンガ研究センター 教授
筒井 洋一氏 筒井ラーニングLab合同会社 代表/
京都工芸繊維大学 非常勤講師

第3分科会

講義形式

定員100名

14:00～17:00

Zoomミーティング

(加盟校優先定員60名)

(大学で)学ぶとは? 教えるとは? そして、良い授業とは?

近年「従来の受動的な座学から主体的なアクティブラーニングへ」等々、いわゆる大学での「授業、講義、実習、演習、個人指導…」と称される《(相互)行為》が大きく変化し始めている。また、今年度は、見えないウイルスとの対峙といった未曾有の状況下で、「教室、講義室、実習室、演習室、研究室、大学の外、オンライン上…」のさまざまな《現場》で、改めて「(大学の)教育(の本質)とは?」が、自分たち自身の問題として立ち現れることとなった。この分科会では、報告者各自が、(大学)教育の過去・現在・未来について、2020年の今現在、最も関心あることを発表し、参加者と共に考えていくことを試みる。

コーディネーター・報告者 関口 久雄氏 京都先端科学大学 人文学部 准教授
報告者 小針 誠氏 青山学院大学 教育人間科学部 教授
天野 太郎氏 同志社女子大学 現代社会学部 教授
池田 恭浩氏 京都先端科学大学 人文学部 准教授

2月27日(土)

第4分科会

10:00～12:00

講義形式

Zoomミーティング

定員100名

(加盟校優先定員60名)

これからの大学と大学教職員に 求められる課題

アフターコロナ、ウィズコロナの社会では、従来とは異なる観点から、よりよい働き方、よりよい暮らし方、よりよい経済・社会のあり方が求められるようになっている。それに対して大学はどのように応えていくのだろうか。本分科会では、ウェルビーイングとアカデミック・コミュニケーションという2つのキーワードを提示する。ウェルビーイングは「幸福や健康」を指すが、個人だけではなく組織や社会の視点も含む概念である。アカデミック・コミュニケーションは研究者育成という観点だけではなく、あらゆる大学人に向けたリテラシーである。分科会では著名なゲストお二人のご講演を踏まえて、今後のよりよい大学教育のあり方について議論する。

コーディネーター 在間 敬子氏 京都産業大学 経営学部 教授
報告者 飯塚 まり氏 同志社大学大学院 ビジネス研究科 教授
谷本 寛治氏 早稲田大学 商学学術院 商学部 教授

第5分科会

14:00～16:30

講義形式

Zoomミーティング

定員40名

(加盟校優先定員24名)

これからの時代の実地教育の 在り方を考える

これまでも、各大学において、社会人として必要な能力を有する人材育成を行うため、有効な手段としてインターンシップ（実地教育）の推進が行われてきたが、ウィズコロナの時代に、その趣旨を生かしながら、どのように実現していくのか、考え方や有効な実施方法などについて学び合う機会とする。特に、学校教育における高度な実践的能力を培うために必要な学びの場や内容の保障をいかに確保、設定し、状況の変化に対応していけるのかについて交流する。

コーディネーター 橋本 京子氏 京都文教大学 こども教育学部 教授
報告者 安彦 忠彦氏 神奈川大学 特別招聘教授
児玉 祥一氏 同志社大学 免許資格課程センター 教授
橋本 祥夫氏 京都文教大学 こども教育学部 准教授

第6分科会

14:00～17:00

ワークショップ

Zoomミーティング

定員100名

(加盟校優先定員60名)

with/afterコロナ時代の教育開発支援

2020年度は多くの大学が「新型コロナウイルス感染症」対策に迫られた。前期は対面授業を遠隔授業に切り替え、後期は対面と遠隔を併用しながら授業を展開している。遠隔授業をほとんど経験したことのない教職員の苦労と努力もさることながら、遠隔授業づくりを支援する教育開発支援担当者や情報メディア部門担当者は、この未曾有の事態の対応に尽力してきた。本分科会では支援者側に焦点をあて、この1年どのような問題に直面し、どのように解決してきたか、そしてコロナ禍が収まらない中これからの大学教育をどのように展望するかについて、規模や状況の異なる4つの大学の事例と現場担当者の考え、そして参加者間での議論をもとに検討したい。

コーディネーター 畑田 彩氏 京都外国語大学 外国語学部 准教授
コーディネーター・報告者 西野 毅朗氏 京都橋大学 教育開発支援センター/
現代ビジネス学部 専任講師
報告者 石川 保茂氏 京都外国語大学 外国語学部 教授
中原 学氏 京都外国語大学 法人部 施設管財課
情報システム推進担当 主幹
松浦 健二氏 徳島大学 情報センター 教授
岩崎 千晶氏 関西大学 教育推進部 准教授

第7分科会

14:00～17:00

講義形式

Zoomミーティング

定員100名

(加盟校優先定員60名)

モチベーションクライシスと向き合う

※2014年度FDフォーラムにおいて、同一テーマで分科会を実施。
今回、内容を更新し6年ぶりに開催。

近年は入学後にすぐに登校しないケースや途中の学年で退学していく学生も少なくない。学生たちの大学入学動機とともに大学で学ぶことの意欲低下の検証が必要である。多くの大学ではこれら学生の抱える悩みや不安などに対応するためにさまざまな支援策が実施されていると思われるが、その策がどこまで効果を発揮しているのか、多くの大学が事例を持ち寄り確かめ合う必要がある。
(モチベーションクライシス＝大学生の学習に対する意識の危機的な低下とする)

コーディネーター 三好 明夫氏 京都ノートルダム女子大学 現代人間学部 教授
報告者 永野 典詞氏 九州ルーテル学院大学 人文学部 教授
眞砂 照美氏 佛教大学 社会福祉学部 教授
小原 教孝氏 学校法人平成医療学園 常任理事(大学担当理事)/
宝塚医療大学 統括長・保健医療学部 教授

2月28日(日)

第8分科会

講義形式

定員100名

10:00～12:00

Zoomミーティング

(加盟校優先定員60名)

ICTを活用した遠隔授業について考える

新型コロナウイルス感染症のパンデミックにより、我が国の大学教育は大きく変化した。特に、対面授業からICTを活用した遠隔授業へと移行し、オンライン型授業やオンデマンド型授業が急速に普及した。講義担当者は、これまでの対面講義とは異なる対応（著作権、レポート、小テスト、定期テストなど）が求められ、また、各大学で使用しているICTアプリや対応が異なることから様々な課題が見えてきた。本分科会では、遠隔授業に関するメリット、デメリット、および、各種課題に対する対応についてご紹介いただく。参加者の皆さんの活用事例などもご紹介いただきながら今後の遠隔授業について議論したい。

コーディネーター 小田 真隆氏 京都薬科大学 生命薬科学系 教授
報告者 坂本 尚志氏 京都薬科大学 一般教育分野 准教授
阿部 一晴氏 京都光華女子大学 キャリア形成学部 教授
瀧本 眞人氏 龍谷大学 国際学部 教授

第9分科会

講義形式

定員40名

10:00～12:00

Zoomミーティング

(加盟校優先定員24名)

若手研究者からみた「大学改革」—アフターコロナの時代を見据えて—

現在も変化の途上にある大学の教育現場において、「これから大学はどうなっていくのか」を最も危機感を持って受け止めているのが、「若手」の大学教員・研究者である。この傾向は、コロナ禍によってオンラインやハイブリッドでの授業等が「新常態」化していく中、より強くなっている。それはこの世代が、大学改革や大学教育の最前線で、内外から新しい状況への対応を最も期待される層だからである。そこで本分科会では、コロナ禍の影響を踏まえ、この世代にとっての今後の大学のあり方のより望ましい方向性について、批判的に検討することを通じ、アフターコロナ時代における大学の理念や存在意義について考えていく。

コーディネーター 水田 大紀氏 佛教大学 歴史学部 准教授
報告者 崎山 直樹氏 千葉大学 国際教養学部 講師
成瀬 尚志氏 大阪成蹊大学 経営学部 准教授
古川 雄嗣氏 北海道教育大学 教育学部旭川校 准教授

第10分科会

講義形式

定員100名

14:00～17:00

Zoomミーティング

(加盟校優先定員60名)

私たちの最新教育改革ビジョン—近年の新設大学・学部教育理念・3つのポリシーから学ぶべきこと

高等教育機関における最先端の教育改革ビジョンは、「大学・短大や学部・学科の新設」という形で具体的に表れる。そこで本分科会では、いくつかの代表的な新設大学・学部の事例を当事者からご報告いただき、それぞれのチャレンジを切り口にして、これからの高等教育が目指すべき方向性を探る。職業教育と教養教育をいかにバランスよく配置するか、専門的な基礎教育をいかに実現するかなどの諸点が論点となろう。教学改革の最前線でカリキュラム設計に取り組む皆さんにご参加いただきたい。

コーディネーター 築地 達郎氏 龍谷大学 社会学部 准教授
報告者 田中 雅一氏 国際ファッション専門職大学 副学長
南野 佳代氏 京都女子大学 法学部 教授
齋藤 邦彦氏 滋賀大学 データサイエンス学部 教授

第11分科会

講義形式

定員40名

14:00～17:00

Zoomミーティング

(加盟校優先定員24名)

新しい生活様式における保育士養成—演習科目「子育て支援」を中心に—

新しい生活様式における保育士養成の演習科目「子育て支援」をどのように行うかということを考えていく。「子育て支援」では「保育士の行う保育の専門性を背景とした保護者に対する相談、助言、情報提供、行動見本の提示等の支援（保育相談支援）」について、その特性と展開を具体的に理解する」「保育士の行う子育て支援について、様々な場や対象に即した支援の内容と方法及び技術を、実践事例等を通して具体的に理解する」を学ぶことになっている。そこで、まず「子育て支援」に関する各話題提供者の研究について発表する。次に、新しい生活様式における「子育て支援」の教育について意見交換し、理解を深めたい。

コーディネーター 安田 誠人氏 大谷大学 教育学部 教授
報告者 新川 泰弘氏 関西福祉科学大学 教育学部 教授
榎本 祐子氏 びわこ学院大学 教育福祉学部 専任講師
武田 洋子氏 東京家政大学 家政学部 准教授
西井 典子氏 大阪樟蔭女子大学 児童教育学部 専任講師

■第26回FDフォーラム スケジュール

2/13 (土)	9:00～	ポスターセッション 特設WEBサイト公開 (2月28日(日)23:59まで)
	10:00～12:00	シンポジウム 大学の教育・研究・社会貢献に新しいモデルは生まれうるか？ ～COVID-19の経験を踏まえてAI化・ロボット化した世界の担い手を構想する～
2/20 (土)	14:00～16:30	※発表数に応じて時間が変更になる可能性があります。 ポスターセッション オンライン発表
	17:00～18:30	情報交換会
2/21 (日)	10:00～12:00	第1分科会 授業目的に応じた学びの時空間の選択 ～深い学びをはぐくむ反転授業
	14:00～17:00	第2分科会 開かれた教室、開かれた大学へ向けて ～メディア授業の可能性について考える～
		第3分科会 (大学で)学ぶとは？ 教えるとは？ そして、良い授業とは？
2/27 (土)	10:00～12:00	第4分科会 これからの大学と大学教職員に求められる課題
	14:00～16:30	第5分科会 これからの時代の実地教育の在り方を考える
	14:00～17:00	第6分科会 with/afterコロナ時代の教育開発支援
		第7分科会 モチベーションクライシスと向き合う
2/28 (日)	10:00～12:00	第8分科会 ICTを活用した遠隔授業について考える
		第9分科会 若手研究者からみた「大学改革」ーアフターコロナの時代を見据えてー
	14:00～17:00	第10分科会 私たちの最新教育改革ビジョンー近年の新設大学・学部教育理念・3つのポリシーから学ぶべきこと
		第11分科会 新しい生活様式における保育士養成ー演習科目「子育て支援」を中心にー

■第26回FDフォーラム企画検討委員会 ★…委員長 ☆…副委員長

★茂見 岳志	同志社大学 経済学部 教授	築地 達郎	龍谷大学 社会学部 准教授
☆畑田 彩	京都外国語大学・京都外国語短期大学 外国語学部 准教授	西野 毅朗	京都橘大学 教育開発支援センター 専任講師
小田 真隆	京都薬科大学 生命薬科学系 教授	橋本 京子	京都文教大学 こども教育学部 教授
岸川 謙介	京都精華大学 デザイン学部 教授	水田 大紀	佛教大学 歴史学部 准教授
在間 敬子	京都産業大学 経営学部 教授/教育支援研究開発センター センター長	三好 明夫	京都ノートルダム女子大学 現代人間学部 教授
関口 久雄	京都先端科学大学 人文学部 准教授	安田 誠人	大谷大学・大谷短期大学部 文学部 教授
田口 真奈	京都大学 高等教育研究開発推進センター 准教授	山口 洋典	立命館大学 共通教育推進機構 教授

■お問合せ先



公益財団法人 大学コンソーシアム京都
The Consortium of Universities in Kyoto

教育開発事業部 FDフォーラム事務局
〒600-8216 京都市下京区西洞院通塩小路下るキャンパスプラザ京都内
TEL:075-353-9163 FAX:075-353-9101
E-mail: fdf@consortium.or.jp
窓口受付時間:火曜～土曜 9:00～17:00(年末年始を除く)